

住民主体の公共的サービスの提供

茅野市

○ 取組の概要

市民活動組織「地域情報化推進ネットワーク」が茅野市のさまざまな地域情報を提供する地域コミュニティサイト「茅野市どっとネット」の企画・管理や住民が情報技術に親しむための講習会などの企画立案。同組織の実務担当組織として NPO「みんなで e ネット」が「茅野市どっとネット」の管理運営、講習会の実施を実践。市は「地域情報化推進ネットワーク」事務局としてその活動を支援するほか、NPO に委託金を交付。

○ 茅野市の概要



茅野市の概要

市役所所在地

●長野県茅野市塚原2-6-1

人口

●55,522人

※H17.3.31現在（住民基本台帳人口）

○ 取組について

1. 取組の背景

- ・茅野市では、昭和 63 年に「りんどうの里 高原生涯学習都市 茅野」として、生涯学習都市宣言を行って以来、「茅野市民憲章」の具体化を目指して生涯学習活動を進めてきた。そうした活動の中から、地域の課題、まちづくりの課題は「行政に任せるのではなく、市民ひとりひとりが自覚に基づいて取り組むべきだ」という共通の認識と理念が生まれた。すなわち、まちづくりとは、市民・民間が主導し、行政はそれを支援して共に取り組んでいく。これが「パートナーシップのまちづくり」の原点となり、具体的には、福祉・環境・教育の三つの分野において、それぞれの分野別計画の中でパートナーシップの手法が明確に位置づけられた。
- ・こうしたパートナーシップのまちづくりの一環として、平成 14 年度に「インターネットを利用したまちづくり（行政情報の発信、地域住民の情報リテラシーの向上）」をまちづくりの重点テーマとして位置付けた。
- ・平成 12 年度に情報化による新しいまちづくりの在り方を検討する民間有識者主体の「地域イントラネット基盤整備事業推進委員会」が設置され、地域情報化の在り方、そこでの市民と行政との役割分担についての提言がなされた。
- ・平成 13 年度、国（総務省）の「地域イントラネット基盤整備事業」の採択を受け、地域の情報通信ネットワーク基盤（ハード）が整備された。
- ・平成 14 年 7 月、上記のハードを活用するソフトを整備する必要性から、その構築を担う市民活動組織「茅野市地域情報化推進ネットワーク」が組成され、地域コミュニティサイト“茅野市どっとネット”が開設された。さらに、同ネットワークの企画・提言内容を実践する組織の必要性から、平成 15 年 6 月には、同組織から分離する形で、実際の活動を行う NPO 法人（みんなで e ネット）が設立された。

2. 取組の具体的内容

■茅野市地域情報化推進ネットワークの概要と活動内容

- ・市内の民間団体代表からなる委員会：委員 65 名、幹事 15 名（平成 16 年度）
- ・「茅野市情報プラザ」（施設は諏訪東京理科大が無償貸与、市が運営）の運営と事業実施。
- ・地域コミュニティサイト「茅野市どっとネット（インターネット上の茅野市の情報の玄関口として、行政情報はじめ民間・ボランティア等茅野市の情報が文化施設から民間娯楽施設まで幅広く掲載されたサイト）」の企画・運営。
- ・地域情報化推進のための提言および実践。

図表 茅野市情報プラザ（諏訪東京理科大学内）

多目的ホール

講習会・研修会
地域公民館活動としての情報化講座開催
企業における社員のIT研修等

使い
方
色
々

主な設備 大画面プロジェクター
パソコン 40台（インターネット接続可能）

利用時間帯	料金
10:00～12:00	1,500円
13:00～17:00	3,000円
18:00～20:00	1,500円
10:00～17:00	4,500円
13:00～20:00	4,500円
10:00～20:00	6,000円
超過時間1時間につき	750円

ネットワークセンター

デジタル工房 ノンリニア編集
CG制作
大型プラズマディスプレイ

インターネット ホットスポットエリアです
電子メール ゲームもできます

IT（情報化技術）何でも相談

- 情報コンセント 設備
- 無線LAN装置 設備
- ご自分のコンピュータ持ち込みOK!

無料

開館時間 午前10時 ▶ 午後8時

休館日 月曜日（祝日となる場合翌日）
年末年始（12/29 1/3）

（資料）茅野市webサイトより

■ 特定非営利活動法人「みんなでeネット」の概要と活動内容

- ・ 上記「茅野市地域情報化推進ネットワーク」の企画・提言内容を実践するため、（同ネットワークから実施部隊として分離する形で）平成 15 年 6 月に設立された NPO 法人。会員 11 名、理事 10 名、監事 1 名（平成 16 年 4 月）
- ・ 平成 15 年度活動実績（地域情報化推進ネットワークが企画した事業を、市が検証し予算化したもの。）

① 情報プラザ講習会の実施（8 種・16 講座）

- 「初めてのホームページ」
- 「HTML 講習会（Java Script 入門）」
- 「小学生のタッチタイピング」
- 「親子で PC デジカメで遊ぶ」
- 「入門イメージデータ処理」
- 「高齢者のためののんびりパソコン教室」
- 「PC リーダー育成講習」
- 「簡易ホームページ作成講習」

② 「茅野市どっとネット」管理運営（パトロール等）

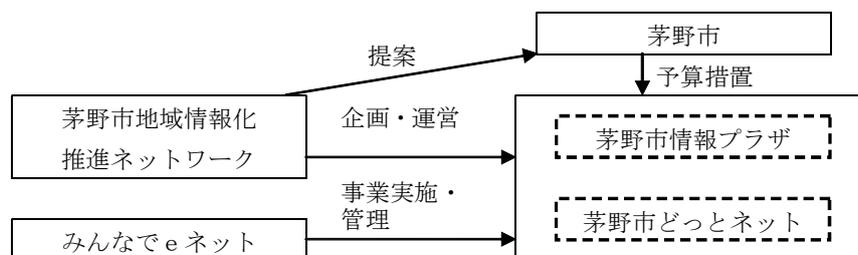
3. 取組にかかる事業費

- ・ 市は、「茅野市地域情報化推進ネットワーク」の事務局として、行政、企業、市民との各種調整支援や、法的問題や個人情報保護などに関する弁護士・システム業者との相談の仲介を行うほか、企画・提案された事業に対し必要な予算措置の役割を担う。
- ・ 上記ネットワークからの企画・提案にもとづき、市から NPO 法人に地域情報化に係る事業委託を行っており、平成 15 年度委託契約額実績：4,005 千円、平成 16 年度予算額：5,021 千円となっている。
- ・ さらに、企業等からの「茅野市情報プラザ職員派遣」に対する報酬として 5,568 千円を支出している。

4. 取組の体制

- ・ 市が地域情報推進ネットワークの事務局の役割を果たしている。
- ・ 「茅野市情報プラザ」は、施設を諏訪東京理科大学の生涯学習センター内に設置され、地域の情報化拠点施設として無償貸与されている。
- ・ その運営に関する企画は「茅野市地域情報化推進ネットワーク」が担い、加えて、同大生が PC レスキューとして情報プラザへ訪れる市民宅へ訪問し、トラブル解消のボランティアを実践している。
- ・ また、情報プラザの運営スタッフ 3 名の内 2 名は、地元企業から派遣され、主としてコンピューターに関する専門性の高い課題に対応している。
- ・ さらに、情報プラザにおける講習会の実施や「茅野市どっとネット」の管理運営は、地域情報化推進ネットワークを母体として設立された特定非営利活動法人「みんなで e ネット」が担当する。
- ・ 今後もこうした体制を継続する予定。

図 茅野市における地域情報化の推進体制



5. 取組の成果

■地域の情報発信の進展

- ・ 平成 15 年 1 月 23 日に開局した「茅野市どっとネット」は、1 年間で約 36 万件のアクセス数を記録。市のホームページへのアクセス件数（年間約 18 万件）と比較すると、約 2 倍のアクセス実績を記録。
- ・ 公民が共同でコンテンツ、運営の在り方を検討したこと、およびその結果として会員である企業、ボランティア・サークル、個人等が、「茅野市どっとネット」を積極的に利用したことにより、web 上での情報発信が地域全体でより身近になったことが上記アクセス件数の実績の背景にあると考えている。

■市民、企業、大学との連携関係の確立

- ・ パートナシップの手法を全面的に活用した事業の実施を通じて、市民、地域の企業、大学との連携関係、信頼関係を確立したこと。

6. 今後の課題

- ・ 情報化を推進する上においては、デジタルデバイド（情報格差）が問題。
- ・ 平成 16 年度の事業計画では、社会福祉協議会やシニアボランティアの協力を受け、視聴覚障害者を対象とした講習会や障害者宅訪問事業を予定しており、このデジタルデバイドの積極的解消に努めることとしている。